

「大分市行政改革推進プラン2018」の進捗状況 及び今後の取組方針について

(主な推進項目に係る令和3年度実績及び令和4年度計画)

令和4年度 第1回大分市行政評価・行政改革推進委員会

日時：令和4年7月20日（水） 13時30分～15時30分

場所：ホテル日航大分 オアシスタワー3階 紅梅の間

現在の社会情勢及び「大分市行政改革推進プラン2018」の推進 における課題の総括

「大分市行政改革推進プラン2018」の計画期間の4年目に当たる令和3年度においては、自主財源等の確保の促進の取組をはじめ、安定的で持続可能な行財政基盤の維持に向けた各種取組を着実に実施したことで、単年度の改善効果額としてはこの4年間で最高の約17億円を計上することができ、累積効果額も5年間の目標である75億円に達しました。また、効果額に関連する推進項目以外についても、各種証明書等の交付における利便性の向上やマイナンバーカードの普及促進に向けた取組、ICTを活用した業務改革による行政事務の効率化に向けた取組など、プランに沿って着実に推進をしているところであります。

一方で、この計画期間中の行政運営においては、プランに沿った取組の推進に加えて、策定時に想定していなかった新型コロナウイルスの感染拡大による新たなニーズやリスクへの対応も図ってまいりました。こうした中、令和3年10月公表の本市の財政収支の中期見通しでは、今後も扶助費を始めとした社会保障関係費や新環境センター整備事業など投資的経費の増加に加え、感染症対策に係る経費が見込まれるところであり、厳しい財政運営を強いられる状況が予想されるとしています。

これらの情勢を踏まえ、令和4年度においては、財政健全化に向けて現プランに掲げる取組の更なる推進を図るとともに、当初の想定を超える急激な社会変革に対しても迅速に対応しながら今後の見通しや課題を検証し、次期プランでの計画的な実施に繋げていく必要があります。

1. 市民満足と利便性のさらなる向上

推進項目4 市民満足度の高い行政サービスの推進

推進プログラム 各種証明書等の交付における利便性向上

実施概要

- 各種証明書等の交付における利便性向上を図るため、コンビニエンスストア等で受け取りができる環境整備を進めるなど、満足度の高い行政サービスを推進する。

R3の実績及び課題

- 令和3年10月から住民票の写し・戸籍証明書・一部の税証明書等のオンラインによる申請を開始した。
- 令和4年2月から市民課・税制課において窓口手数料のキャッシュレス決済の利用が可能となった。
- 証明書自動交付機の運用終了に伴い、窓口での発行件数も増加しているため、今後もマイナンバーカードの申請とコンビニ交付サービスの利用を促進する必要がある。

コンビニ交付件数

- 令和元年度 15,297通（証明書発行件数全体の3.7%）
 - 令和2年度 40,802通（証明書発行件数全体の8.5%）
 - 令和3年度 92,008通（証明書発行件数全体の20.7%）
- ・マイナンバーカードを利用した証明書コンビニ交付サービスを平成30年7月から開始。
（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部・個人事項証明書）
令和2年10月から所得証明書、課税証明書も取得可能になった。



【キャッシュレス決済方法】
クレジットカード決済、電子マネー決済、QRコード決済
※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標。

R4の取組方針

- マイナンバーカードの取得を促すとともに、より多くの市民にコンビニ交付サービス利用してもらうため、市報やケーブルテレビ、SNSなどの各種メディアを活用しサービスの周知を図り積極的に広報を行う。

推進項目4 市民満足度の高い行政サービスの推進

推進プログラム マイナンバーカードの利活用・普及促進

実施概要

- 各種証明書等の交付における利便性向上を図るため、証明書コンビニ交付サービス等を利用する際に必要となるマイナンバーカードの普及促進に努める。

R3の実績

- マイナンバーカード申請、交付について、休日は月1回、市民課・各支所で予約不要（佐賀関・野津原は予約制）で交付窓口を開設。
- 平日に月1回、時間外に市民課にて予約制で窓口を開設。
- 令和4年2月1日にマイナンバーカードセンターを設置。

カード交付率

- 令和元年度末 16.32%（累計 78,197枚）
- 令和2年度末 30.26%（累計 144,785枚）
- 令和3年度末 46.19%（累計 221,012枚）

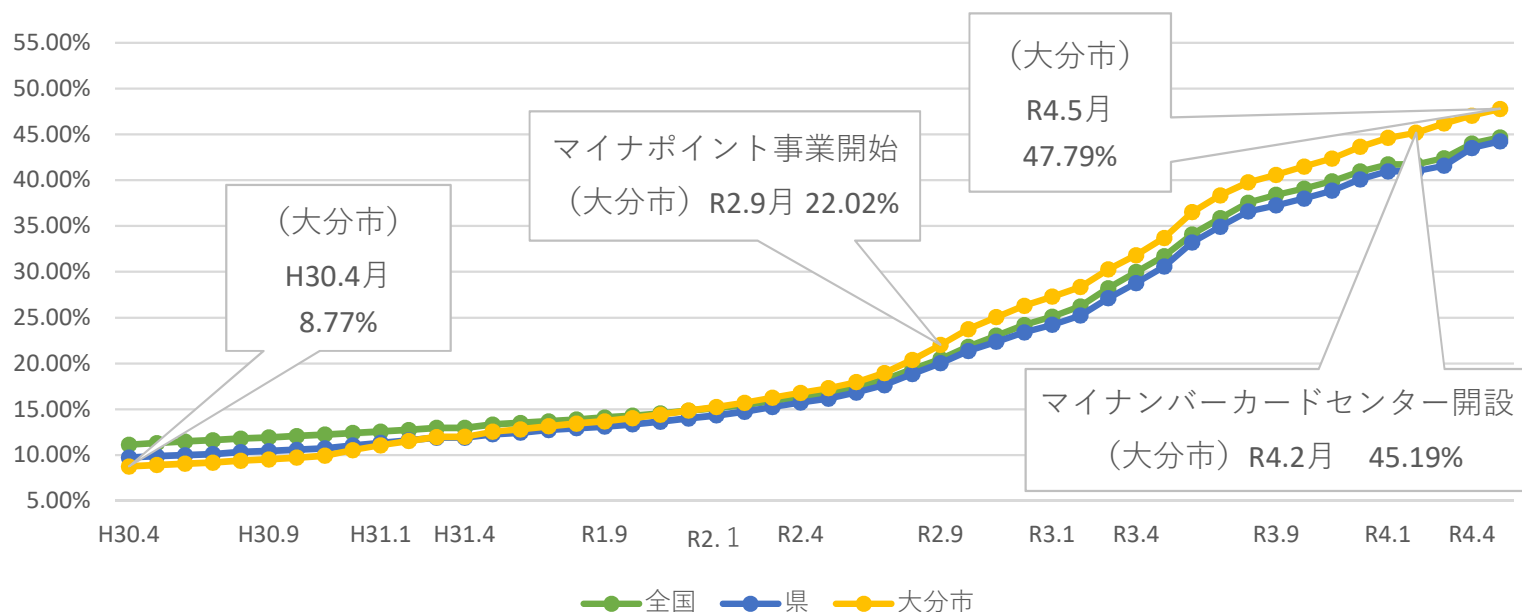
課題

- 交付枚数、交付率ともに大きく増加したが、国は令和4年度中にほとんどの国民がマイナンバーカードを保有することを目指す方針を示しており、さらなる申請促進に取り組むことを求められている。

R4の取組方針

- 市報等による広報を行い、マイナンバーカードの取得促進およびコンビニ交付サービスやマイナンバーカードセンターの利用を呼び掛ける。

マイナンバーカード交付率推移



2. 多様な主体との連携による活力の創造

推進項目7 市民のまちづくりへの参加・参画機会の確保

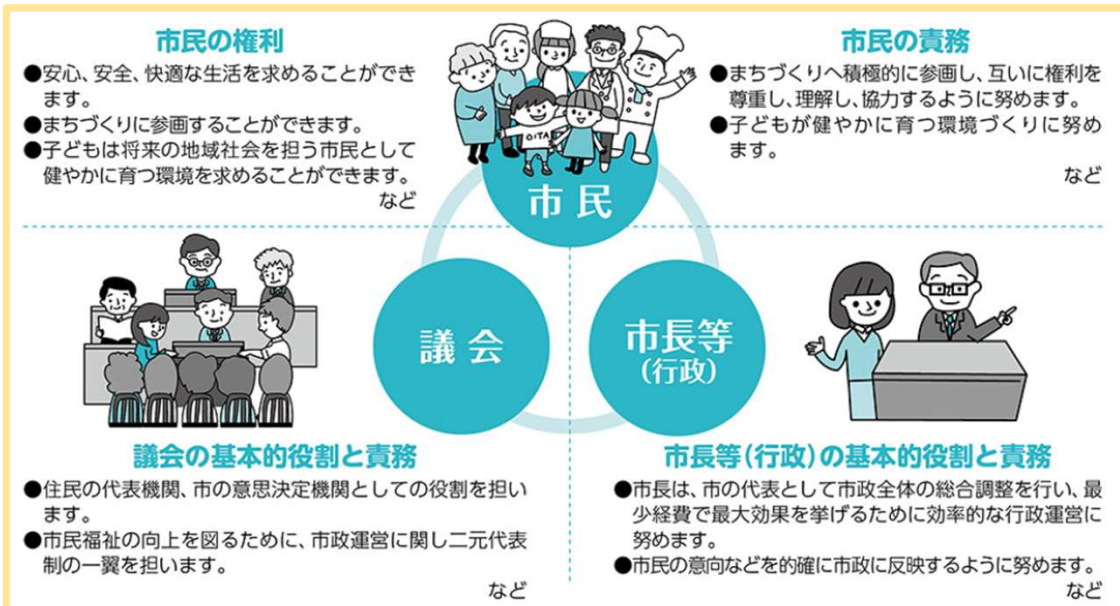
推進プログラム 大分市まちづくり自治基本条例の推進

実施概要

- 市民、議会及び市長等の役割、行政運営の方法、市民の参画その他のまちづくりの基本となる事項を定めることにより、市民主体による自治の実現を図る。

R3の実績及び課題

- 大分市まちづくり自治基本条例検討委員会を設置した。全4回の委員会の中で、条例の趣旨を最大限に尊重するための改善点について様々な意見があったが、最終的に、条例の基本理念等を再考するほどの社会情勢の変化はなく、条文を見直す必要はないとの提言を踏まえ、条例改正は行わなかった。しかし、条例の周知について多くの意見をもらっており、特に若い世代に対する広報について検討する必要がある。



【大分市まちづくり自治基本条例のイメージ】

みんなで進めるまちづくり 大分市まちづくり自治基本条例の手引き



大分市

【まちづくり自治基本条例パンフレット】

R4の取組方針

- 市民がまちづくりに対してどのようなことができるのか、条例の理念を浸透させていく必要があるため、分かりやすいパンフレットの作成を行う必要がある。また、SNS等を活用した条例の周知について検討していく。

推進プログラム 大分都市広域圏との連携

実施概要

- ・大分都市広域圏域内の各自治体のそれぞれの特性や資源を生かし合って協力していく連携事業を推進し、単独で実施するよりも効果的な市民サービスを提供して、市民の生活をより一層、豊かで便利にしていく。

R3の実績

- ・令和3年4月に「デジタル部会」を発足した。
- ・令和3年5月に「第2期未来創造塾」を開講した。
- ・令和3年11月に「大分都市広域圏ビジョン会議」と「大分都市広域圏推進会議」を開催し、広域連携事業について協議を行った。



人と地域を未来につなぐ『大分都市広域圏』
～温泉や南蛮文化など多彩な地域資源を生かした
創造都市圏を目指して～



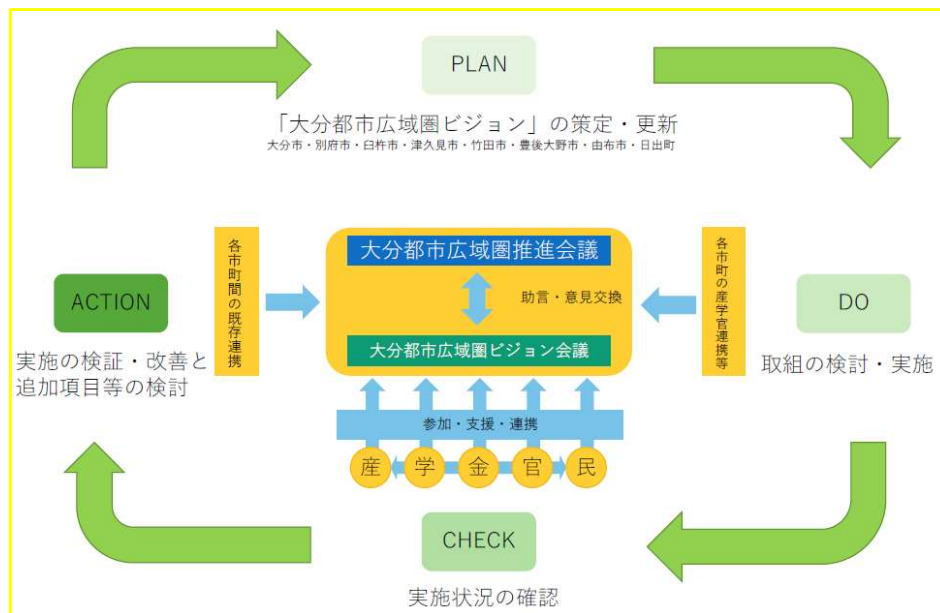
【大分都市広域圏の将来像】

課題

- ・都市広域圏域内の各自治体が抱える課題は地域の特性により異なっており、各自治体との調整が難航する事案もある。今後、ますます広域連携が主流となり広域連携事業が増えていくが、関係自治体との調整や、事業の進捗状況の把握など、中心市である大分市のかじ取りがますます重要となってくる。

R4の取組方針

- ・令和4年度中に「(仮) 図書館相互利用部会」を設置予定。
- ・令和4年4月に「公共施設の相互利用促進に関する作業部会」を開催し、公共施設案内・予約システムの更新に向け、広域圏での調整を行う。



【広域連携事業の推進及び検証体制】

3. 安定的な行財政基盤の強化

推進項目15 業務執行方式の見直し

推進プログラム 学校給食調理業務の見直し

実施概要

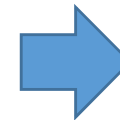
- 学校給食調理業務に民間活力を導入することにより、効率的な業務の執行を行う。

R3の実績及び課題

- 令和3年度は新たな民間委託を導入した学校はなかった。今後の委託において、栄養教諭未配置校への委託の手法や、費用対効果を踏まえ、引き続き検討を行っていく必要がある。

調理業務等の民間委託を導入している学校数（累計）

- 平成30年度 11校
- 令和元年度 16校
- 令和2年度 19校
- 令和3年度 19校



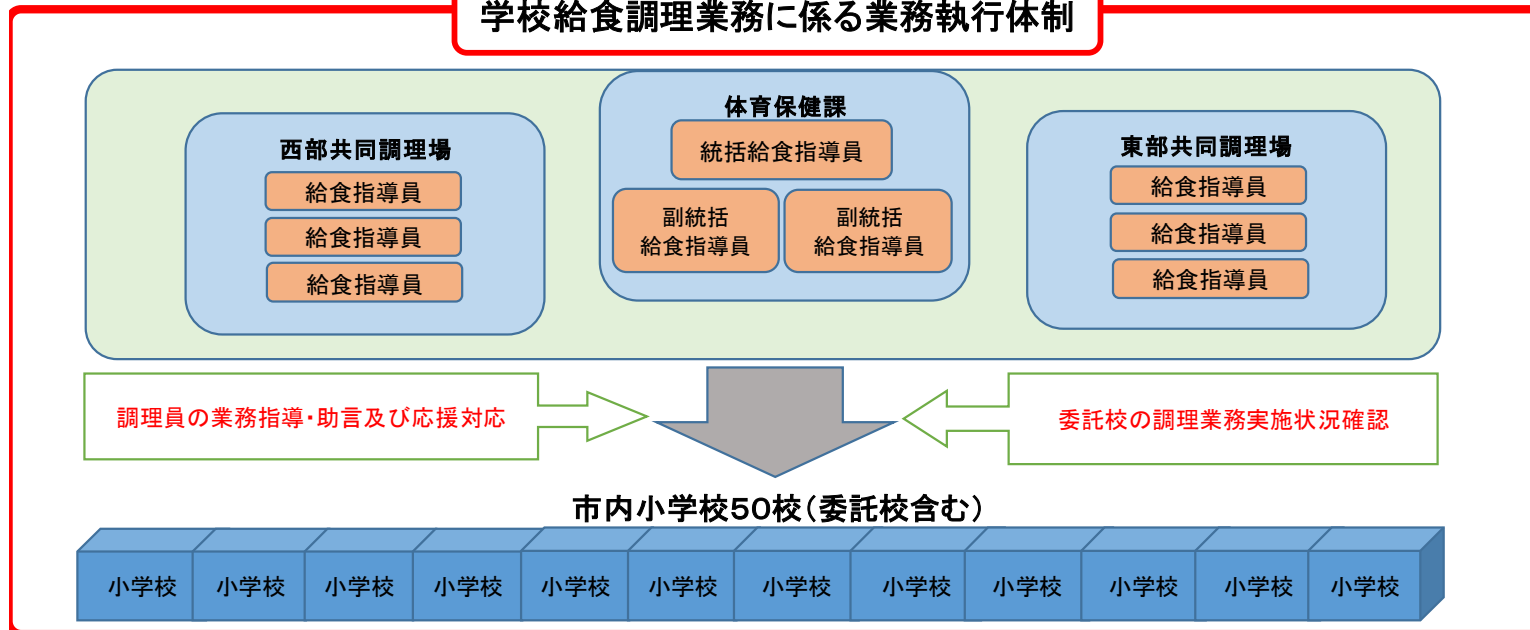
改善効果額（累積）
（H30～R3）
211,172千円

※R3改善効果額（単年度）0円

R4の取組方針

- 令和4年8月より、調理業務等の民間委託を新たに1校導入する。

学校給食調理業務に係る業務執行体制



推進プログラム 学校主事業務の見直し

実施概要

- 各エリア内の拠点校に設置している学校主事業務支援室に、学校主事の指導支援を行う指導員として正規職員を配置し、学校に再任用職員や会計年度任用職員を配置するなかで、学校主事業務の円滑な実施を図る。

改善効果額（累積）
（H30～R3）
102,460千円

※R3改善効果額（単年度）25,805千円

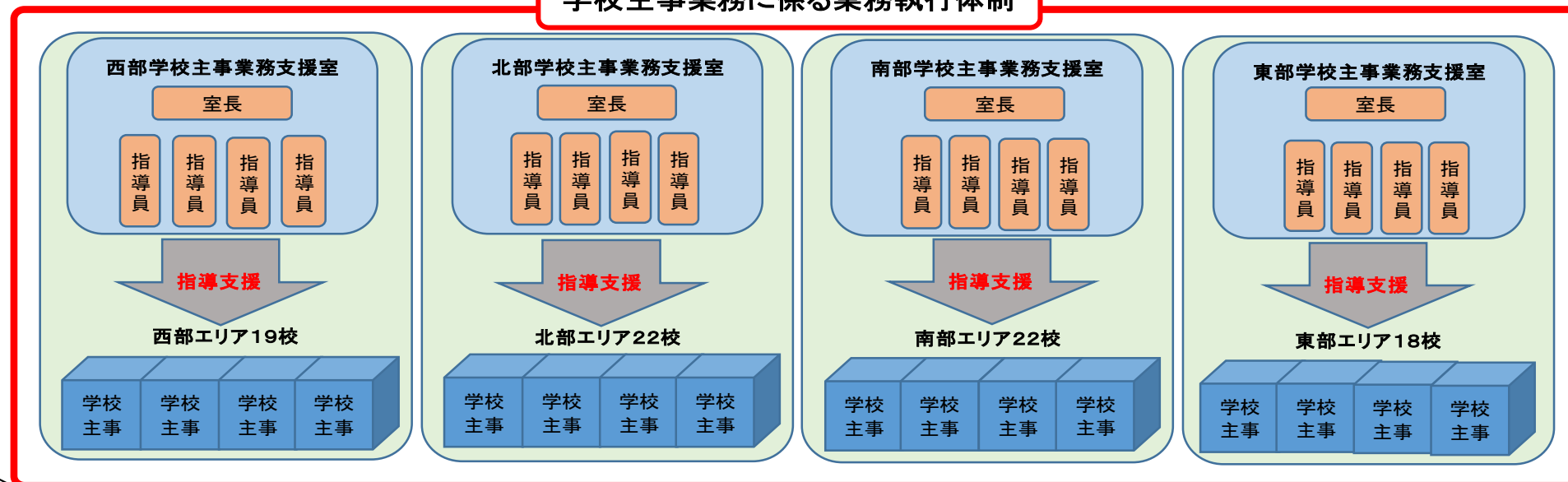
R3の実績及び課題

- 令和3年度は、正規職員31名、再任用職員9名、会計年度任用職員62名の計102名の体制で学校主事業務を円滑に実施した。
- 引き続き、指導支援体制の充実を図り、学校主事業務の円滑な運営を行う必要がある。

R4の取組方針

- 引き続き、各エリア内の拠点校に配置している学校主事業務支援室を活用するなかで、適正な職員配置を行う。

学校主事業務に係る業務執行体制



推進項目19 計画的保全による公共施設等の長寿命化

推進プログラム 教育施設の計画的な長寿命化の推進

実施概要

- 学校の長寿命化改修の実施により、長く安全に施設を利用することが可能となるとともに、維持・整備費用の縮減等が図られる。

R3の実績

- 令和3年度は、下記の長寿命化改修工事を実施した。
①別保小南校舎、②森岡小本校舎、③東大分小北西校舎
④舞鶴小体育館、⑤横瀬小体育館

R4の取組方針

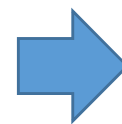
- 植田西中学校体育館の長寿命化改修工事を実施。

課題

- 建設業界における人材不足や建設資機材の高騰、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資材の供給不足等により、工期の長期化が懸念され、今後の長寿命化改修計画の進捗に影響を及ぼす可能性がある。
工期の長期化への対応として、改修内容の見直しや設計施工一括発注方式等民間活力導入の検討を行う。

長寿命化改修工事を実施（完了）した件数

- 平成30年度 1件
- 令和元年度 3件
- 令和2年度 2件
- 令和3年度 5件



改善効果額（累積）
（H30～R3）
187,289千円

※R3改善効果額（単年度）37,082千円

◆学校長寿命化改修工事等と契約期間

施設名	現行プラン					
	H30 2018		R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022
	年度区分					
寒田小学校		体育館				
別保小学校				南校舎		
森岡小学校	体育館			本校舎		
舞鶴小学校		北校舎		南校舎	体育館	
横瀬小学校		中校舎		南校舎	体育館	
東大分小学校					北西校舎	
植田西中学校						体育館

4. 合理的・効率的な事業手法による行政運営

推進項目27 行政事務の効率化

推進プログラム エコ・オフィス運動の推進

実施概要

- 公文書の電子化率を向上させることにより、行政事務の効率化及びペーパーレス化を推進する。

R3の実績及び課題

- 課、部単位の電子化率を毎月公表し、電子化率向上の意識付けを行うことにより、令和3年度の公文書の電子化率は83.99%となっている。
- 市役所内部の事務処理において電子化率は漸増傾向にあるが、迅速な手続きが必要な補助金申請など紙による申請関係書類における作業効率優先の観点や、秘匿性の高い個人情報を取り扱う事務における情報漏洩防止の観点から電子化が進まない事例もある。

電子化の推移

- 平成30年度 74.26% (電子化率50%以下は5課)
- 令和元年度 78.40% (電子化率50%以下は2課)
- 令和2年度 81.50% (電子化率50%以下は2課)
- 令和3年度 83.99% (電子化率50%以下は2課)

R4の取組方針

- 毎月、各課への電子化率の公表を継続するとともに、「大分市ペーパーレス化ガイドライン」の周知を行い、紙使用の削減に向けた職員の意識付けや印刷行動の抑制を促す。

推進プログラム BPR (※1) 手法を活用した業務改革の推進

実施概要

- 市役所における業務のうち、機械的・定型的な業務へRPA (※2) などICTを活用し、抜本的な効率化を図る。

R3の実績及び課題

- RPAは、6課8業務にて新規開発を実施。このうち、3課4業務についてはAI-OCR (※3) と併せて運用している。
- RPAの導入にあたっては、現行業務のプロセスの一部を置き換える手法では、期待された業務削減効果が得られない場合もあり、まずは既存の業務プロセスを抜本的に見直すことが必要である。

※1 BPR (Business Process Re-engineering) : 既存の組織やルールを抜本的に見直し、職務、業務フロー、管理機構、情報システムを再設計、再構築することで業務改革を行うこと。

RPA、AI-OCR導入による削減された業務時間

- 令和元年度 119時間
- 令和2年度 605時間
- 令和3年度 3,115時間

R4の取組方針

- RPAの導入について、適用業務の募集を行い、導入効果の高い業務に対して新規開発を検討する。

※2 RPA (Robotics Process Automation) : PCを用いた事務作業を自動化する「ソフトウェアのロボット」のこと。システム入力など単純作業を得意とする。

※3 AI-OCR : AI (人工知能) を活用して文字認識精度の向上を図り、かつ、設定を自由に行えるようにすることで、様々な様式に対応できるようにした帳票読み取り機能のこと。

推進プログラム ネーミングライツの導入

実施概要

- ・市有施設にネーミングライツを導入することで、自主財源の確保の促進に努める。

R3の実績

- ・令和3年度に下記の施設でネーミングライツの契約を締結。
 - ① 駄原総合運動公園内施設（更新）
 - ② 大分市営陸上競技場及び津留公園（新規）

課題

- ・これまでに6施設で導入されているが、これらは全て市が施設を選定し、金額や契約期間等を設定したうえで募集する「施設等特定募集型」であり、民間事業者等から対象施設を募集する「施設等提案募集型」については、これまで応募がないことから、広くPRしていく必要がある。

R4の取組方針

- ・市が所有する施設の新設・リニューアル等に際し、ネーミングライツを導入するよう施設所管課へ働きかけるとともに、「施設等提案募集型」の応募を増やすため、他都市に照会を行い、提案実績のあった都市に対して聞き取り等を行うことにより、提案募集型を増やすための手法等を調査する。

◆ネーミングライツ導入施設と契約期間及び契約金額

施設名	年度区分	現行プラン					次期プラン				
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
ホルトホール大分		6,000万円			1億円						
駄原総合運動公園 (球技場、テニスコート、相撲場)		1,400万円				2,525万円					
駄原総合運動公園 (トレーニング施設)				100万円							
おおいた動物愛護センター (ドッグラン、多目的広場)		※200万円									
大洲総合体育館			600万円								
祝祭の広場、大型LEDビジョン			3,360万円								
市営陸上競技場、津留運動公園自由広場・テニスコート					4,750万円						

(※注)おおいた動物愛護センターは大分県と共同で設置した施設であるため、県の方と合わせたネーミングライツ料は200万円。(大分県と大分市の運営協定により、運営に係る支出及び収入は大分県にて執行する。大分市は、運営に係る支出からネーミングライツ料を含む収入を引いた額に2分の1を乗じた金額を運営負担金として大分県に支払う。)

推進項目 2 9 自主財源等の確保の促進

推進プログラム ふるさと納税制度の活用

実施概要

- ふるさと納税制度を活用することにより、自主財源の確保の促進に努める。

R3の実績及び課題

- 「ふるなび」、「大分市特設サイト」、「さとふる」に掲載開始し、寄附額の向上と提供事業者の販路拡大に努めた。
(寄附額：975,528千円、返礼品数：635品、定期便30品)
- 令和3年度終了時点では、5サイトで寄附を受け入れているが、効果が期待できるサイトを精査したうえで掲載サイトを増やし、受け入れ窓口を拡大する。
- 一部人気返礼品の在庫切れにより、寄附の機会損失につながるケースがある。

寄附件数

・平成30年度	10,226件
・令和元年度	14,985件
・令和2年度	34,480件
・令和3年度	48,482件

改善効果額（累積）
(H30～R3)
416,607千円

※R3改善効果額（単年度）281,820千円

R4の取組方針

- 返礼品数をさらに増やすとともに、在庫切れせず安定供給可能な人気返礼品の掘り起こしに努める。30品目の定期便をさらに増やし、寄附単価の向上を目指す。
- ふるさと納税サイト「ふるさとプレミアム」、「ANAふるさと納税」の掲載を検討する。

推進項目 3 1 公営企業における健全経営の推進

推進プログラム 他の公共工事との同時施工

実施概要

- 他の公共工事と発注調整を行い、可能な限り同時施工を図ることで、効率的・効果的な施工及びコスト縮減に努める。

R3の実績及び課題

- 下水道工事との発注調整会議を開催するなど、他の公共工事との発注調整を行い、同時施工による工事を60件発注した。

同時施工の件数

・平成30年度	39件
・令和元年度	46件
・令和2年度	58件
・令和3年度	60件

改善効果額（累積）
(H30～R3)
400,661千円

※R3改善効果額（単年度）161,090千円

R4の取組方針

- 効率的・効果的な施工及びコスト縮減のため、継続して他の公共工事と発注調整等を行い、可能な限り同時施工を図る。

5. 職員の意識改革と組織体制の強化

推進項目33 働きやすい職場環境づくり

推進プログラム 職員の働き方改革の推進

実施概要

- ・大分市職員働き方改革推進プログラムに基づき、ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境の整備と職員の意識醸成を図る取組を推進する。

R3の実績及び課題

- ・保健所における週休日振替・休日代休制度を試行実施（コロナによる業務増への対応）、情報政策課における時差出勤を試行実施した。
- ・長時間勤務者が依然として多いことから、さまざまな取組を通じて、解消を図ることが必要である。

指標	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値
時間外勤務 月100時間以上職員数（延べ）	69人	76人	80人	171人	0人
1人当たり月平均時間外勤務時間数	13.9時間	15.1時間	13.2時間	13.5時間	-
年次有給休暇平均取得日数	13.3日	12.8日	14.0日	14.5日	15日以上

R4の取組方針

- ・令和4年度版のプログラムの施行にあたり、全職員に対するプログラム等の周知徹底及び職員の意識改革・意識醸成を図る。

推進プログラム 女性職員の活躍に向けた取組の推進

実施概要

- ・「大分市職員活躍推進プラン」に基づき、女性活躍・子育て支援の一体的な取組推進を図る。

R3の実績及び課題

- ・「大分市職員活躍推進プラン」、「両立支援ハンドブック」、男性職員の育児への参画促進のための「チェックシート」等を活用し、仕事と育児・介護の両立支援に関する制度を周知するとともに、職員への意識醸成及び取得促進を図った。
- ・女性職員の管理職への登用が進んでいるが、目標達成に向け継続して取組を進めていく必要がある。

指標	R1.5	R2.4	R3.4	R4.4	目標値（※1）
課長級の女性職員の割合（参事級含む※2）	9.0%	11.0%	18.2%	20.2%	22%
課長補佐級の女性職員の割合	24.8%	24.2%	24.6%	26.6%	33%
係長級の女性職員の割合	33.1%	33.7%	34.9%	35.3%	40%

指標	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値
男性職員の育児休業取得率	5.9%	4.9%	19.0%	25.4%	30%

※1 目標値は国の第5次男女共同参画基本計画に基づき、令和3年度から変更

※2 課長級の女性職員割合は、令和3年度から参事級を含んで算定

R4の取組方針

- ・「大分市職員活躍推進プラン」に掲げる行動計画の取組を進めるとともに、その進捗状況等を把握し、点検を行う。

数値目標に係る進捗状況について(令和3年度の改善効果額実績)

(単位:千円)

推進項目	推進プログラム	令和3年度効果額	平成30年度からの効果額合計
15 業務執行方式の見直し	学校給食調理業務の見直し / 学校主事業務の見直し 【※整理番号15-P47】	25,805	313,632
16 公用自動車の見直し	軽四輪公用自動車のリース化 【※整理番号16-P49】	324	6,769
19 計画的保全による公共施設等の長寿命化	公共施設等の計画的・効果的な維持保全 / 教育施設の計画的な長寿命化の推進 / 橋梁等の計画的な長寿命化の推進 【※整理番号19-P53~54】	55,269	648,255
20 公共建築物・プラントの保有量の適正化	学校校舎等の有効活用 【※整理番号20-P55】	23,250	244,000
26 特別会計の健全化	各種特別会計の健全化 【※整理番号26-P61~62】	100,000	302,921
28 事務事業の整理・合理化	行政評価制度の活用 / 各種補助金・負担金の見直し / 管理運営経費の縮減 / その他事務事業の見直し 【※整理番号28-P67~68】	486,376	1,929,675
29 自主財源等の確保の促進	ネーミングライツの導入 / 広告料収入等の確保 / ふるさと納税制度の活用 / 公有財産の売却及び有償貸付の促進 【※整理番号29-P69~72】	545,806	1,205,797
30 PPP/PFI等の導入推進・活用	多彩なPPP/PFI手法等の活用 【※整理番号30-P73】	7,347	478,723
31 公営企業における健全経営の推進	公共工事のコスト縮減対策の継続的な実施 / 給与水準の適正化 / 借入利率を考慮した借入期間の設定 / 公有財産の有効活用 / 水道水の有効率の向上 / 水道施設の維持管理コストの削減 / 公共ますへの早期接続の促進 / 他の公共工事との同時施工 / 多様な事業手法の活用 【※整理番号31-P75~84】	225,501	1,191,938
35 職員配置と給与水準の適正化	給与水準の適正化 【※整理番号35-P94】	228,000	1,181,900
※事前配布資料「大分市行政改革推進プラン2018(令和3年度推進実績、令和4年度推進計画)」における掲載ページ【整理番号-掲載ページ】		1,697,678	7,503,610

改善効果額実績の累積額は、**75億円**に到達し、プラン4年目で計画目標(75億円)に対する達成率は、**100.0%**となった。